

5 歳 児

<子どもの保育目標>

集団生活の中で自立的、意欲的に協同的な活動を積み重ね、達成感や充実感を味わう。

<養護> 生命の保持

ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ① 一人一人の子どもが、快適に生活できるようにする。 ② 一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。 ③ 一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。 ④ 一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。
保 育 士 が 行 う 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ① <ul style="list-style-type: none"> ・登園時の健康観察や子どもの様子の把握を日々必ず行い、家庭での食事や睡眠などについて保護者から情報を得る。 ・常に体の状態・機嫌・食欲などの観察を十分に行い、変化が見られた時は適切に対応する。 ・不適切な養護の早期発見・児童虐待への対応など、子どもの人権を守る視点からも日々の心身の健康状態の確認や継続的な把握、記録を行う。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・保育士は子どもの疾病についての理解を深める。 ・子どもの周囲の環境を点検し、衛生的な環境への細心の注意を払う。 ・子どもの発達の過程や特性を踏まえ、一人一人の子どもの行動を予想し、起こりやすい事故を想定しつつ環境に留意して事故防止に努める。 ・子どもの活動を保障し、子どもにとって安心安全な環境維持及び向上を図る。 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・明るさ・温度・湿度・音などについて常に配慮する。 ・保育士は応答的に関わりながら、食欲や睡眠などの生理的欲求を満たしていく。 ・送迎時の保護者との会話や連絡帳、懇談会などを通し、積極的に家庭との情報交換を行い、子どもの一日の生活全体を考慮して、食事・睡眠・休息・遊びなどが無理なく営まれるようにする。 ④ <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達を見通し、全身を使う運動を適度に取り入れ、それぞれの状態に応じた活動を十分に行う。 ・生活リズムに合わせ適度な休息をとることができるようにする。 ・静と動のバランスを配慮して、保育の内容に柔軟に取り入れる。 ・友達と一緒に食事をし、様々な食べ物を食べる楽しさを味わえるようにする。 ・基本的な生活習慣の習得については、急がせることなく、一人一人の子どもの様子をよく見て適切な時期に適切な援助をしていく。

<養護> 情緒の安定

ね ら い	<p>① 一人一人の子どもが、安定感をもって過ごせるようにする。</p> <p>② 一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。</p> <p>③ 一人一人の子どもが、周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。</p> <p>④ 一人一人の子どもがくつろいで共に過ごし、心身の疲れが癒されるようにする。</p>
保 育 士 が 行 う 事 項	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの心身の状態や発達過程を的確に把握し、それぞれの子どもの欲求を受け止め子どもの気持ちに寄り添う。 ・優しいまなざしや態度で関わる。 ・温かなやり取りやスキンシップを心がける。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの気持ちを汲み、適切に応答する。 ・子どもと向き合う中で、自らの思いや願いを子どもに返していく。 ・生活の中で互いに認め信頼し合う関わりを通して、生涯にわたる人との関わりの中盤となる基本的な信頼感を培う。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自発性や探索意欲が高まるような環境を計画的に構成し、保育士は見守り共感しながら励ましたり必要な助言を行ったりする。 ・人と物との出会いの中で芽生える様々な感情や考え、多様な体験の過程を保育士が見守り受け止めることによって、子どもの自己肯定感を育む。 <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活全体を見通し、家庭と協力しながら心身の状態に応じて適切に援助していく。 ・静かで心地よい環境のもとで、子どもが心身の疲れを癒すことができるようにする。 ・子どもの家庭での就寝時間に配慮して、午睡の時間帯を工夫し柔軟に対応する。

5歳児 <教育> 健康

<ねらい>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。 	
内 容	保育士が配慮すべきこと
<ul style="list-style-type: none"> ○ 楽しんで食事をし、食事の仕方が身に付く。 	<p>【楽しく食べる・考えて食べる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事中にふさわしい会話の内容や、声の大きさを意識できるように働きかけ楽しく食べられるようにする。 ・ 箸や食器を正しく扱い、マナーを意識して食事をするよう働きかける。 ・ 子どもが食に関わる活動を通して、食に関する興味や知識を広げ感謝の気持ちを育む。 ・ アレルギー食や様々な食文化があることを知らせる。 ・ 行事食などを通して季節や文化を伝えていく。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto; padding: 5px;"> 食に関する興味が、知識を広げる </div>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 適切な休息をとる。 	<p>【体を休める大切さの理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休息の意味を知らせ、自ら体を休める習慣が身に付くようにする。 ・ 長時間の保育に配慮して室内環境を工夫し、くつろげる場所を用意する。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 心地よい生活をするために、マナーの必要性が分かり守って行動する。 	<p>【みんなが気持ちよく過ごすために】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トイレや水道など共有の場所では、次に使う人のことも考えてきれいに使うことを知らせる。 ・ 着替えを行う時には、子どもの羞恥心に配慮した環境を整える。 ・ 職員が子どもの手本になるような生活態度を見せていく。

<教育> 健康

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 自分や友達の体の異常について保育士に知らせる。</p> <p>○ 友達と様々な運動器具や遊具を取り入れて工夫して遊ぶ。</p> <p>○ 安全に過ごすためのきまりが分かる。</p> <p>○ 危険から身を守る注意力を身に付け行動する。</p> <p>○ 生活に見通しをもち、自分達で進んで行動する。</p> <p>※ 災害時の対応</p>	<p>【“なんだかおかしい”を表現する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身体計測、健康診断、健康教育を通して、体の部位の名称や仕組みなど健康な体の状態について知らせ、自分や友達の体の異常に気づき伝えられるようにする  <p style="text-align: right;">友達の心臓の音を聴いてみる</p> <p>【積み重ねてきた経験を生かす】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全に楽しく遊べるよう運動器具の正しい使い方や片付け方を分かりやすく知らせる。 子ども達が意欲をもって活動し、遊びが継続できるような環境を保障する。 <p>【危険から身を守る力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 異年齢や複数のクラスで遊ぶ時は、相手のことを考えながら安全に行動できるようにする。 危険が伴う時には、その都度知らせたり安全な遊び方をみんなで話し合ったりして考えられるようにする。 交通安全教室や散歩などを通して交通ルールを知らせる。 知らない人に対する警戒心や対応の仕方を知らせていく。 <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「いかのおすし」 ついていかない 車にのらない おお声を出す すすぐに逃げる しらせる</p> </div> <p>【自分達で生活を進める】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日の流れを知らせる。 生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動できるよう生活の場を整える。  <ul style="list-style-type: none"> 職員は慌てずに状況判断をし、職員同士声をかけ合いながら子どもの安全確保をすると共に、安心できるような表情や声かけ、スキンシップを心がける。 子どもに、ダンゴ虫のポーズをとることや、笛の合図で集まることなど、自分の身を守る方法を知らせていく。 避難訓練や起震車体験などを通して、自分の身を守ることの大切さを知らせる。 子どもに状況を知らせ、職員の指示に従うように伝える。

5歳児 <教育> 人間関係

<ねらい>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。 	
内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 周りの人々に対する親しみを深め、集団の中で自己主張をしたり人の立場を考えたりしながら行動する。</p> <p>○ 簡単なきまり、約束を作り出し、友達と一緒に遊びを発展させて楽しむ。</p> <p>○ 異年齢の子ども達と遊ぶ楽しさを味わう。</p>	<p>【自分の思い・相手の思い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝言や手伝いを頼むなど、周りの人の存在や様子に気付けるような場面を設定し、親しみを深められるようにする。 ・ 当番活動や手伝いを通して、みんなの役に立つ喜びを味わえるようにする。 ・ 話し合いの場などを通し、自分の意見を言ったり友達の話の聞いたりする機会を設ける。その中で、時には様子を見ながら子どもの思いを代弁したり引き出したりして、相手の思いを受け止めて折り合いを付けられるようにする。 <div style="text-align: right; margin-bottom: 20px;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">出席調べ</div> </div> <p>【友達と楽しく遊ぶために】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで楽しく遊ぶためにどうしたらよいかを子どもが考えている時には、保育士がきまりや約束を教え込むのではなく、子どもの発想を認め実現できるようにサポートする。 ・ リレーやドッジボールなどで勝ったり負けたりする経験を通して、考える力や友達との仲間意識をもてるようにする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-bottom: 20px;">   </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">自分達で走る順番を決める</div> </div> <p>【異年齢の子どもとの関わりの中で育つ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の生活の中で、異年齢の子どもと関わる機会や縦割りでの活動を取り入れる。 ・ 自分より小さい年齢の子どもとの関わりの中で、自分の感情を抑えたり相手に合わせて振舞ったりする思いやりのある行動を認めていく。 <div style="text-align: right;">  </div>

<教育> 人間関係

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 身近な社会生活におけるきまりを理解し、必要な習慣や態度を身に付け行動する。</p> <p>○ 身近な人との関わりの中で、相手の立場を理解し、思いやりの心をもって行動する。</p>	<p>【相手の立場を理解する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の生活の中で場面を捉え、言ってはいけないことや相手がどのように思うかなどを伝える。 <p>【身近な社会への関心・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者施設や近隣の小学校、保育施設との交流に参加するなどの活動を取り入れ、様々な人と触れ合う機会をつくる。 身近な公共施設を利用する機会を通し、場所や場面にふさわしい言葉遣いや行動の仕方を知らせる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>近隣園との交流</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図書館では静かに</p> </div> </div> <p>※ 保護者会などを通して、保護者にも規範意識について伝えていく。</p> <p>※ 規範意識・・・法令などの社会のルールの大切さを理解し それを守ろうとする意識</p> <div style="text-align: center;">   <p>環境学習でごみの分別の仕方を学ぶ</p> </div>




5歳児 <教育> 環境

<ねらい>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な事象を見たり、考えたり扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。 	
内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 身近な社会や自然事象への興味、関心を深め、美しさや、優しさ、尊さに対する感情が豊かになる。</p>	<p>【たくさんの経験や体験から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な自然に触れ合い、関わることを通して子どもの気付きに共感し、子どもの次なる発見への意欲を引き出す問いかけを丁寧にしていく。 ・ 発見の中で湧いてくる疑問などに対応できるよう図鑑などを用意し、子ども自身が調べ気付くことのできる環境を作り、科学的な考え方や見方の芽生えを培う。 ・ 多様な体験ができるように、保育園内の自然環境を整備したり、地域の自然と触れ合う機会を作ったりすることで自然との関わりが深められるようにする。 ・ 様々な事物に対する興味や関心が深められるよう、地域の児童館や図書館などの行事への参加や交流を通し、たくさんの経験や体験ができるようにする。 ・ その時々的事象や自然事象に興味をもてるように働きかける。(オリンピック、ワールドカップ、竜巻、台風など) <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin: 0 auto;">気付きから知識へ</p> </div>
<p>○ 身近な動植物をいたわり大切に世話をする。</p>	<p>【命の不思議さ大切さ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意図的、計画的に飼育物や栽培物の世話が経験できるように環境を整備する。 ・ 繰り返し世話をすることで、生き物の特性や扱い方に気付き愛着をもった関わりができるようにする。 ・ 生き物の世話を通して自然の摂理や生命の大切さを伝えていく。

<教育> 環境

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 身近な大人の仕事に興味関心をもつ。</p> <p>○ 日常生活の中で必要な事物を見たり扱ったりして、物の性質や数量、図形、簡単な標識、文字、時間などに興味、関心をもつ。</p>	<p>【身近な大人がモデル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な人が仕事をしている姿を通して「何しているの？」と興味をもったことに対しては、分かりやすく説明をし、様々な生活の中の仕事にも興味や関心をもてるようにする。 ・ 地域に出かけ、そこで出会う仕事に関心をもてるようにする。当番活動のねらいを明確にし、活動を通して仕事に関心をもてるようにする。 <p>【生活や遊びの中での発見が興味関心へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士が豊かな素材を用意し、いろいろな素材を試すことでその性質が感じられるようにする。 ・ 知識だけを教えるのではなく、生活の中で数を教えたり量を比べたり、様々な形を組み合わせで遊ぶなど、多様な経験を積み重ねることで数量や図形などに関心をもてるようにする。 ・ 言葉遊びやカードゲームなど楽しんで遊ぶ中で、文字への関心を深める。 ・ 身近にある交通標識や非常口、トイレのマークなどに意味があることを知らせる <div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 遊びや生活の中で文字や数、時間に関心をもてるように </div>
<p>○ 日常生活の中で、様々な文化や伝統に親しむ。</p>	<p>【身近な文化や伝統への親しみから、国際理解の芽生えへ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 季節ごとの伝統的な行事を通して、その由来を伝えたり古くから伝わる歌や遊びを楽しんだりすることで、日本の文化や伝統に親しみをもてるようにする。 ・ 様々な国や地域の食や国旗など異なる文化に触れる機会をもち、社会の繋がりや、国際理解の芽生えが養われるようにする。 <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>

5歳児 <教育> 言葉

<ねらい>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活に必要な言葉が分かるようになると共に、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育士等や友達と心を通わせる。 	
内 容	保育士が配慮すべきこと
<ul style="list-style-type: none"> ○ 状況に応じて適切な言葉を使う。 ○ 人の話をよく聞き、内容を理解する。 ○ 自分の経験したこと、感じたこと、考えたことなどを分かるように話し、相手と伝え合う楽しさを味わう。 	<p>【場や相手に応じた言葉遣い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共の場や交流の場など、その場に応じた言葉遣いを知らせていく。 ・ 保育士は、来客、目上の人、近隣の人と接する時に、挨拶、敬語などモデルとなる言葉遣いを示していく。 <p>【人の話をよく聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の会や集会、絵本や物語など、話を聞く機会を通じて、聞くことの楽しさや友達と一緒に聞くことで生まれる一体感を感じられるようにする。 ・ 子どもが話す人に気持ちを向け、関心をもって聞けるよう、状況に合わせた話し方をしたり場の設定を工夫したりする。 ・ 最後まで話を聞き、そこから疑問に思ったことを質問するという経験ができるようにする。 <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">  </div> <p>【言葉で伝え合う楽しさ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意図的にみんなの前で話すことや、グループなどの少人数で話し合う機会を設け、自分の話や思いが相手に伝わることや相手の話や思いが分かる楽しさや喜びを感じられるようにする。 ・ 保育士は、話し合いの中で互いの意見のぶつかり合いや葛藤の場を見守り、自分達で折り合いを付けながら話し合いを進められるよう援助する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>

<教育> 言葉

内 容	保育士が配慮すべきこと																																							
<p>○身近にある文字や記号などに興味や関心をもち、それを使おうとする。</p>	<p>【遊びを通して興味を深める】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字や数字などは、一人一人の興味に合わせ、日常生活や遊びの中で文字を読んだり書いたりする楽しさ、文字を通して意味が伝わる面白さを感じる経験を積み重ねていけるようにする。 遊びを通して身の回りの文字や数字、記号などに触れ合えるよう、カードゲームやかるたなど子ども達が自由に選んで遊べる環境を用意する。 文字や数字、記号などに興味をもてるよう、郵便ごっこや地図・カレンダー作りなどの活動を保育に取り入れる。 																																							
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>11がつこんだてひょう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>3じのおやつ</p> </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>ようび</th> <th>きょうしやく</th> <th>3じのおやつ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1・15・29</td> <td>たきこみごはん・にまめ</td> <td>ぎょうにゅう</td> </tr> <tr> <td>きんようび</td> <td>じゃがいもとにんじんのいために・みそしる</td> <td>みろくり・むさんど</td> </tr> <tr> <td>2・16・30</td> <td>にくいりにこみうどん・がんものみぞれ</td> <td>むぎちゃ</td> </tr> <tr> <td>どようび</td> <td>さつまいものばたーに・ふるーん</td> <td>ごまおにぎり・ちーず</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>ごはん・さかなのてりやき</td> <td>ぎょうにゅう</td> </tr> <tr> <td>げつようび</td> <td>ちゅうかふうあえもの・とまと・いためじる</td> <td>ぶーていん</td> </tr> <tr> <td>5・19</td> <td>むぎごはん・こうやとうろのじぶに</td> <td>ぎょうにゅう</td> </tr> <tr> <td>かようび</td> <td>ゆでほうろこりー・なめこじる</td> <td>くりのかっけーき</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>えんそく</td> <td>むぎちゃ・ゼリー</td> </tr> <tr> <td>すいようび</td> <td></td> <td>ぜんべい</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>ばたーろーる・ちゅうかふうむしもの</td> <td>ぎょうにゅう</td> </tr> <tr> <td>すいようび</td> <td>かぼちゃのあまに・たくさんじる</td> <td>みーとばい</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>	ようび	きょうしやく	3じのおやつ	1・15・29	たきこみごはん・にまめ	ぎょうにゅう	きんようび	じゃがいもとにんじんのいために・みそしる	みろくり・むさんど	2・16・30	にくいりにこみうどん・がんものみぞれ	むぎちゃ	どようび	さつまいものばたーに・ふるーん	ごまおにぎり・ちーず	18	ごはん・さかなのてりやき	ぎょうにゅう	げつようび	ちゅうかふうあえもの・とまと・いためじる	ぶーていん	5・19	むぎごはん・こうやとうろのじぶに	ぎょうにゅう	かようび	ゆでほうろこりー・なめこじる	くりのかっけーき	6	えんそく	むぎちゃ・ゼリー	すいようび		ぜんべい	20	ばたーろーる・ちゅうかふうむしもの	ぎょうにゅう	すいようび	かぼちゃのあまに・たくさんじる	みーとばい
ようび	きょうしやく	3じのおやつ																																						
1・15・29	たきこみごはん・にまめ	ぎょうにゅう																																						
きんようび	じゃがいもとにんじんのいために・みそしる	みろくり・むさんど																																						
2・16・30	にくいりにこみうどん・がんものみぞれ	むぎちゃ																																						
どようび	さつまいものばたーに・ふるーん	ごまおにぎり・ちーず																																						
18	ごはん・さかなのてりやき	ぎょうにゅう																																						
げつようび	ちゅうかふうあえもの・とまと・いためじる	ぶーていん																																						
5・19	むぎごはん・こうやとうろのじぶに	ぎょうにゅう																																						
かようび	ゆでほうろこりー・なめこじる	くりのかっけーき																																						
6	えんそく	むぎちゃ・ゼリー																																						
すいようび		ぜんべい																																						
20	ばたーろーる・ちゅうかふうむしもの	ぎょうにゅう																																						
すいようび	かぼちゃのあまに・たくさんじる	みーとばい																																						
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">ひらがなで献立表を掲示</div>																																							
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>																																							
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">自由に選んで遊べる環境</div>																																							

<教育> 表現

<ねらい> ・ 自分のイメージを動きや言葉などで、表現したり演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。	
内 容	保育士が配慮すべきこと
○ 身近な社会や自然事象への関心が高まり、様々なものの面白さ、不思議さ、美しさなどに感動する。	【豊かな感性と表現力の芽生え】 ・ 身近な社会・自然事象の中で、不思議に感じた子どもの気持ちや発見を大事にし、共感していく。また、それを周りの子どもに伝えることでその感動を皆で共有できるようにする。 ・ 保育士は生活の様々な場面で、子どもが心を動かされている出来事に、共に感動できるよう自らの感性を豊かにする。
○ 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	【子どものイメージを大切に】 ・ 絵本やお話からイメージを膨らませ、想像しながら表現し、そのイメージの世界を十分に楽しめるよう、道具や用具、素材などを用意し子どもと共に環境を構成する。 ・ 子ども達のイメージを実現し表現を楽しめるよう、話し合いの場を設けアイデアを出し合ったり必要に応じて保育士も一緒に材料や作り方を考えたりする。
○ 音楽に親しみ、みんなと一緒に聴いたり、歌ったり、踊ったり、楽器を弾いたりして、音色の美しさやリズムの楽しさを味わう。	【友達と音楽を表現する楽しさ】 ・ 様々な歌や曲が聞ける場、簡単な楽器が自由に使える場などを設け、音楽に親しみ楽しめるよう環境を整える。 ・ 既製の体操やダンスだけでなく、音楽に合わせて自由な発想で体を動かす経験を多くしていく。



いつでも使えるように



<教育> 表現

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 様々な出来事の中で、感じたこと、感動したことを伝え合う。</p> <p>○ 感じたこと、想像したことを言葉や身体、音楽、造形など自由な方法で友達と一緒に表現して楽しむ。</p>	<p>【感動したことを伝え合う楽しさ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが感じたこと、感動したことを共有し表現できるよう、日常生活の中で、その感動を伝え合ったり友達の表現に触れたりする機会をもつようにする。 <p>【みんなで表現する楽しさ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動会や劇遊び、卒園製作など、友達とイメージを共有し、目的をもった活動を取り入れ、友だちと協力し表現する楽しさや達成感を味わえるようにする。 劇遊びなどでは、子どもからアイデアを引き出したり、セリフや役など子ども同士で相談して決める場を設けたりすることで、自分達で作り上げていく過程も楽しめるようにする。 <div data-bbox="619 974 1398 1476" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="569 1563 1445 1944" data-label="Image"> </div>